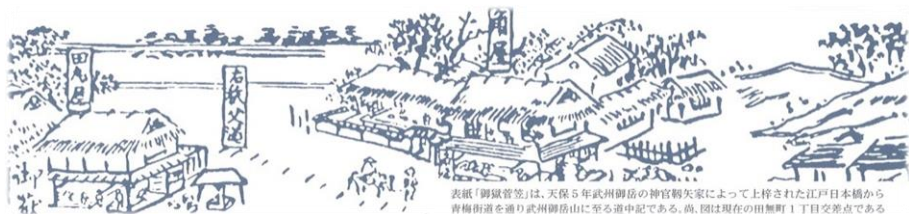


2024～25 年度

RI 会長 ステファニーA.アーチック

国際ロータリー第 2580 地区 東京田無ロータリークラブ



表紙「御嶽宮堂」は、天保5年武州御嶽の神官頼次家によって上梓された江戸日本橋から青梅街道を通り武州御嶽山に至る道中記である。尚、図は現在の田無町1丁目交差点である

例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
例会場：フレンドリー 2 階
事務局：〒188-0011
東京都西東京市田無町 5-1-12
海老沢ビル 401
TEL 042-463-6711 FAX 042-463-6716
E-mail/info@nishitokyoshi-rc.org
HP/<https://nishitokyoshi-rc.org/>
会長：吉田宗泰 幹事：成田英夫

Vol. 56 No. 16/ 2024. 11. 14 発行

第 2585 回 例会 11 月 14 日(木)

アスタセンターコートでのイベントに振替

- (2) 中学校巡回ピアノコンサートに行ってきました。
生徒さん達は静かに集中して聞いていました。
10 月 22 日(火) 田無二中…新井会員、関口会員、吉田宗泰会員が参加しました。
10 月 25 日(金) 田無一中…新井会員、飯島会員、吉田宗泰会員が参加しました。

第 2584 回 例会報告 11 月 7 日(木)

卓話

寺嶋 千陽様・岡田 柚衣様

ローテックス委員

幹事報告

成田 英夫 幹事

「ロータリー財団月間リソースのご案内」が来ています。

出席報告

総員	25 名	免除	2 名
出席	11 名	出席率	44%
欠席	14 名		

会長報告

吉田 宗泰 会長

理事会報告

- (1) バス旅行について
見積書について
深川不動堂様への謝礼金について 承認
- (2) 11 月 14 日のアスタセンターコートでのイベントについて
参加される会員は当日 12:45 頃アスタ 2F 集合 承認
- (3) 10 月 20 日に集まった能登半島豪雨災害支援金について
これからの例会およびバス旅行の際にさらに募金して、合わせて地区に送金する。 承認

会長報告

- (1) 10 月 20 日アスタイベントお疲れ様でした。
200 名位のお客様がいらっしゃいました。

委員会報告

- 職業奉仕委員会 飯島享会員
11 月 14 日アスタイベントについて
13:00 池澤市長の挨拶
13:15 小峰会員のお話
14:20 柳沢小学校の児童の合唱
ご協力をお願いします。
- 親睦委員会 山田裕太会員
11 月 20 日バス旅行について
理事会で見積、謝礼金など承認されました。

卓話 寺嶋千陽様・岡田柚衣様

初めまして。57 期 ROTEX の岡田ユイです。このような卓話の機会を頂き、大変嬉しく思っております。

本日は、青少年交換プログラムについてご紹介させて頂きます。よろしくお願いいたします。

本日は、青少年交換プログラムの概要、ROTEX とは、活動報告の3点をお話させて頂きます。

まず簡単に私の自己紹介をさせて頂きます。

第57期生として派遣させていただきました、岡田ゆいと申します。東京都立小平高等学校出身で、東京東村山ロータリークラブにスポンサーをしていただきました。2022年から2023年にかけてベルギー王国に派遣させていただきました。続いて簡単にですが私の交換留学について少しお話ししたいと思います。私の交換留学は目指したいもの、将来やりたいことなどを明確にしました。私は派遣中から派遣後、西欧政治や移民、社会的排外などの問題に興味を持ち、現在は政治について大学で学んでいます。海外で一年暮らすというのはもちろん楽しいことが沢山ありました。身になじみのない料理を食べて、行ったことのない地にたくさん旅行をして、東京という大きな都市から、私はベルギーの端にある小さな町に住んでいたの、見たことのない自然の中で暮らしました。宗教も、文化も、言語も違う友達とディスカッションするのも新鮮な体験でした。しかし楽しいことだけでなく、辛いこともあります。大好きな家族、友達から離れること、時々ものすごい孤独を感じたり、食事が合わなかったり、言語の壁はいつになってもものすごく高いです。たくさんの楽しいこと、苦しいことすべてひっくるめて、人生に一年しかない特別な一年間です。Rotary の交換留学プログラムは世界中の青少年と交流を持つことができるのも特徴の一つです。みんなでワンデートリップをしたり、現地の2160地区がイタリアトリップを計画して下さり、留学生たちと10日間を過ごしました。ベルギー文化だけでなく、メキシコやアメリカ、旅行先のイタリアのカルチャーにも触れることができ、多くを学び、多くを経験しました。この交換留学経験は進路だけでなく、私の人生の節々で様々な決断に関与し続けると思います。私のこれからの人生はこの一年間をベースに構築されていくのだと今感じています。現在は中央大学法学部政治学科に所属しており、同期や先輩方とRotexとして、一年間の経験を基に日本に滞在する留学生、これから派遣される予定の派遣予定学生のサポートに全力を尽くしております。それでは本題に移らせて頂きます。

まず、ロータリーの青少年交換プログラムについてです。

ロータリー青少年交換プログラムは、15歳から19歳の青少年に1年間交換留学の機会を提供する「青少年奉仕活動」です。現在、100以上の国で、約530地区が連携し、このプログラムが行われています。始まりは1929年、フランスのニースでの交換留学です。この後、1875年に公式的に「ロータリー青少年交換」が認定され、現在まで95年間続いています。

主な目的は、海外交流の機会を提供し、国際理解、異文化理解と親善の心を育むこと、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらし、世界の平和を実現するリーダーを生み出すこと、です。青少年たちは小さな親善大使として世界に派遣され、母国と派遣国の架け橋のような存在になれるように交流を行います。

簡単に組織形態についてご説明します。こちらの黄色い部分が青少年交換委員会です。学生を取りまとめ、地区におけるイベントを企画、開催しています。例えば、月に1回青少年交換委員会を開き、学生の状況を共有したり、問題解決案を話し合ったりしています。

私達ROTEXもこちらに所属しています。

現在、2580地区では日本に來ている海外学生が10名、来年度に海外に派遣される日本人学生が沖縄に1人を含む、10名います。2580地区は規模が小さいので学生とロータリアンの方々との距離も近くあたたかな雰囲気特徴的です。

具体的なプログラム内容は「学生を海外に派遣すること」以外は地区によって異なり、2580地区の青少年交換プログラムは5年一貫のプログラムになっています。

まず、6月ごろに選考試験が行われ、合格した中高生は「派遣予定学生」となり、海外に派遣されるための準備を行います。派遣予定学生は、来日学生とともに地区青少年委員会の行事に参加する他、スポンサークラブの訪問や、月2回行われる茶道、フィールドトリップ、ジャパントツアーなどのさまざまな活動を通じて、日本の文化について派遣先の国で伝えられるように学んでいきます。

その後2年目に「小さな親善大使」として海外に派遣されます。現地の学校に通いながら、受け入れ先のホストクラブを訪問したり、世界中から集まった海外の交換留学生と交流をしたりします。その活動内容や頻度は国ごとの地区体系により大きく異なります。学校やロータリークラブでは、日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じて、日本と派遣国の架け橋のような存在になれるように努力していきます。

そして帰国してから3年間は、ROTEXとして活動します。主に日本に滞在している来日学生のサポート、プログラム1年目である派遣予定生の留学準備のサポート、青少年交換事業の目的である異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート、そして現在行っているような卓話活動をボランティアで行っています。

ここからは2人目に移らせて頂きます。まず簡単に自己紹介をさせて頂きます。

(改めて名前、出身校、スポンサークラブ、派遣年度と派遣国を述べた後、青少年交換プログラムでの思い出や学びを述べる。最後に現在の所属や専攻などをお話する。)

私からは、ROTEX についての紹介と昨年度の活動報告をさせていただきます。

はじめに、ROTEX についてお話しします。

ROTEX は、ロータリー青少年交換プログラムで海外に一年間滞在した学生に一番近い先輩として、派遣生活のサポートを行います。

ROTEX の活動内容については右側のとおりです。例年このような行事を主に企画運営しております。

3 年目の ROTEX が執行代となります。現在は 56 期が執行代となり、メインで活動を行っています。ジャパンツアーやサマーキャンプの内容や訪れる場所、フィールドトリップと呼ばれる 1 日遠足の内容や頻度は執行代によって決定されるため年度によって異なります。

毎年、来日学生と派遣学生が日本文化を学び、異なる価値観に対して理解を深めることができるように、さらにコミュニケーションを促進できるような場を作れるように努力しています。

月に一度のオリエンテーションでは、ガバナー提出向けの書類の作成など、派遣に向けて必要な事柄の案内や、英語や派遣先の言語でのスピーチを課しています。スピーチの後は ROTEX からのフィードバックを行い、語学の上達や発表態度に対する指導を行っています。

ここからは、私がお話しさせていただきます。

改めまして、今年度 ROTEX 委員長、第 56 期の寺嶋千陽です。2020 年に、田無ロータリークラブの皆様にごスポンサーしていただき、ベルギー王国に派遣していただく予定でしたがコロナウイルスにより中止となってしまいました。高校は武蔵野大学高等学校で、現在は慶應義塾大学にて英米文学を専攻しております。また、今年度田無ロータリークラブさんにホストしていただいております、エレナのジュニアカウンセラーを務めさせております。

それでは、続いて、活動報告に入らせていただきます。

まず、今年度初めての行事として、8 月にサマーキャンプを所沢で行いました。10 日間にわたり、来日学生はひらがなとカタカナのマスターを目標にしながら日本語の基礎を学びました。期間中には、授業の一環として風呂敷講座や書道の体験を行ったり、授業外で日本のアニメ映画鑑賞やショッピングモールでの買い物、伝統的なうちわづくり体験などを通して、日本のポップカルチャーや伝統に触れ、最終日には日本語でのスピーチを行いました。派遣予定学生は、ロータリーや青少年交換プログラムについて知ることや来日学生との関係作りの為に、4 日間のみ参加しました。最終日には自分の興味関心について英語でスピーチを行いました。

以降は、昨年度の活動報告になります。

9 月には、米山委員会の方からお声かけをいただき、

2580 地区と 2620 地区の合同研修に参加させていただきました。静岡県の中島にありますが、日本三大清流の柿田川(かきた川)の清掃を行い、また米山梅吉(うめきち)記念館も訪れました。今年度もこのような、青少年交換プログラムの枠を超えた活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

続いて、茶道の稽古についてです。こちらは年間を通して行われ、ROTEX はレッスンの日程を講師の方と相談し引率します。日本の重要文化財でもある今日庵という由緒正しい場所でお稽古をしています。今日庵での茶道の稽古は、2580 地区特有の活動で、ロータリアンさんや今日庵の方のご好意で続けさせていただいています。年度末には学生たちは日本の伝統的なもてなしができるようになり、帰国後に家族や友人に茶道を披露する来日学生や、派遣後に現地で茶道を披露する派遣学生が毎年沢山います。2 月に行われた 2580 地区の地区大会では、この学びを活かして呈茶席(ていちゃせき)のお手伝いの機会も頂きました。

フィールドトリップと呼ばれる遠足を二ヶ月に一回実施しています。日程調整から行程までのすべてを ROTEX が企画し、引率します。昨年度は、10 月には鎌倉でのフィールドトリップ、12 月はクリスマスパーティー、2 月には中華街でのフィールドトリップを行いました。日本の伝統的な建造物をめぐると、学生同士の交流を促進するために、グループに分けて行動させるなど工夫しました。

12 月には派遣生の派遣国が決定します。派遣国決定後は、派遣生の気持ちの高鳴りがより感じられるようになります。また、オリエンテーションで派遣国の言語でスピーチをする際には、その国から来ている来日学生に手伝ってもらうこともあります。

青少年交換プログラムの中で最も大きな行事としては、ジャパンツアーが挙げられると思います。前年度は 3 月 24 日から 4 月 1 日の 9 日間にわたり、西日本を回る行程で行いました。ジャパンツアーは宿から毎日の行程まで全てのことを ROTEX が決定し、引率を行います。一大イベントの一つになりますので ROTEX 一同、一丸となって準備を行いました。各地域の名所を巡る他、2620 地区との交流や、博多人形の絵付け体験、箸づくり体験など形に残る体験も取り入れ、充実したジャパンツアーとなりました。今年度のジャパンツアーも学生の心に残る思い出深いものになるように、努めていきたいと思っています。活動報告は以上になります。

ここからは私個人の意見になりますが、プログラム

を通して「海外への派遣」が 1 番大きなことではあ

りますが、派遣の中止になってしまった私にとってはそれは一つのイベントに過ぎずプログラムの目的ではないと思っております。高校生の頃は「留学」に対する漠然とした憧れを持って本プログラムに参加したことから、ウイルスによるやむおえない中止は当時辛い経験となりました。しかしそれ以上に先ほど紹介させていただいたようなイベントやインバウンドとの関わり、また ROTEX 活動などの活動に関わることで得る経験と自分の成長は大きいものでした。それだけこの活動が素晴らしいものであるということを伝えさせていただければと思います。是非とも今後ともご支援宜しく願います。

最後にグッズのご紹介とご協力のお願いをさせていただきます。

私たち ROTEX は、先ほどもご紹介させて頂いたように、派遣予定学生や来日学生が日本文化を学び、異文化交流の促進の場所や機会を作ることに取り組んでいます。このような私たちの主催するイベントは ROTEX 費というお金から出ています。この予算から学生たちの各施設の入場料や体験料金、飲食費を支出しています。グッズの売り上げは ROTEX 費に回らせていただいておりますので、彼らの一年間の日本での文化体験がより充実したものになるように、多くみなさまにご協力いただければ幸いです。以上となります。改めまして、本日はこのような卓話の機会をいただきましてありがとうございます。今後も青少年交換プログラムへのご協力をよろしくお願いいたします。



ニコニコBOX

吉田宗泰会員

本日、ローテックス委員長寺嶋千陽様、岡田柚衣様、ようこそお越し頂きました。卓話を楽しみにしております。

成田英夫会員

寺嶋千陽さん、岡田柚衣さんようこそ田無クラブへ。

明日、吉田会長と分区のゴルフコンペに参加してきます。残念ながらクラブ対抗には参加できません。

中村洋司会員

ローテックス委員長寺嶋千陽様、岡田柚衣様、卓話よろしくお願いします。

松村哲也会員

ご無沙汰してしまつて申し訳ありません。今後は、極力参加します。

浦野利一会員

寺嶋さん、岡田さん、本日はよろしく。

下平章会員

ローテックスの御 2 人ありがとうございます。

飯島享会員

寺嶋さん、岡田さんようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしています。

10 月 20 日に実施したイベントへのご協力ありがとうございました。

齋藤雄作会員

寺嶋千陽さん、岡田由衣さん、本日の卓話、宜しくお願いします。

井上明子会員

寺嶋様、岡田様、本日の卓話どうぞよろしくお願いいたします。急に冷えこんできました。皆様ご自愛ください。

山田剛士会員

寺嶋様、岡田様、本日卓話楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いいたします。

山田裕太会員

寺嶋さん、岡田さん、本日は東京田無ロータリークラブへようこそ。

来週はアスタコートイベント、20 日はバス旅行とイベントがめじろおしです。親睦を深めていきましょう！

本日計 12,000 円 / 累計 176,000 円

回 覧

◇上記の幹事報告

◇他クラブ週報

配布物

※ ロータリーの友

本日の昼食

道

例 会 予 定

- 11 月 21 日 (木) 休会→バス旅行に振替
- 11 月 20 日 (水) バス旅行
- 11 月 28 日 (木) 中学校巡回ピアノコンサートに振替
- 11 月 26 日 (火) 中学校巡回ピアノコンサート

S A A ・例会場設営担当 (11 時 50 分集合)

<週報担当 関口豊一会員>